

リゾート観光文化村の建設をめざす 平成3年度 施政方針

はじめに

平成三年第三回恩納村議会定例会の開会にあたり、平成三年度一般会計予算案をはじめ諸議案の説明を申し上げます。平成三年度

育・文化・福祉の均衡のある村づくりにおき今後とも村民の生活向上発展のため鋭意努力してまいります。さて、平成二年度は、統一地方選挙、衆議院議員選挙、県知事選挙と行なわれ十年余の保守県政から革新



施政方針を述べる村長

の村政運営にあたっての所信の一端を申し上げ議員各位並びに村民の皆様のご御理解とご協力を賜りたいと存じます。村政の基本を、産業・教

育・文化・福祉の均衡のある村づくりにおき今後とも村民の生活向上発展のため鋭意努力してまいります。さて、平成二年度は、統一地方選挙、衆議院議員選挙、県知事選挙と行なわれ十年余の保守県政から革新

報化、人口の高齢化等の進展で社会構造が大きく変貌しつつありますが、村民の皆様、議員各位の絶大なるご支援とご協力によりまして、きびしい行財政事情のもとではありましたが、当初計画しました農林水産業の基盤整備や、道路、排水路等の土木事業、教育文化活動及び各学校の施設整備や学力向上対策推進事業に積極的に取り組み成果をあげていますが、三年度においても、文化財の保護、歴史民俗博物館等の建設に向けてなお一層努力して参りたいと存じます。また、村民の健康づくりについては、健康まっぴりの開催、健康保健事業を実施し多大な成果を上げていますが、今後とも老人医療や成人病等の予防と保健活動を行ない福祉活動を充実強化してまいります。村内経済活動における観光関連事業も全般的に好調に推移しましたが、昨今のリゾートブームに数多くの

開発相談がありますが、恩納村環境保全条例に基づいた土地利用計画の区分、指定を行ない、開発と環境保全の調和に留意して村民生活を優先した村土の有効活用を推進しつつ、リゾート観光文化村の建設を推進していきます。私は、村長就任以来はじめて南米四カ国を訪問する機会を得ましたが、今後海外移住者の実態調査や子弟の受入等、交流事業も積極的に取り組んでいきます。また、住民の生命、財産を脅かす都市型訓練施設の撤去について村民一体となって取り組んでまいります。さらに、職員の勤務意欲と資質の向上を図り、二十一世紀の国際化社会到来に向けて国内外の視察研修の継続と行政事務の改善、役場庁舎建設に向けての建設委員会の設置（外部団体含む）、第三次恩納村基本構想に基づく基本計画の作成恩納通信所返還後の跡地利用詳細計画の作成等、村民

財政運営 について

創意の基に村民がふるさとに誇りと愛着、自信のもてる村づくりをするために、ソフト面の充実強化をしていきたいと思っております。具体的施策については以下に詳述致します。

共公団体の財政を取り巻く環境は極めて厳しい状況にあるといえます。このような財政環境のもと、本村のこれまでの財政運営は自主財源である村税や財産収入等の増加はあったものの基金の繰入金や地方債等の額も同様に昇傾向にありまし

内容の行楽地として県下でも随一のものとなっております。この恵まれた自然環境は、本村のみならず沖縄

件余のリゾート関連大型施設の建設相談があります。内容も従来の海浜レジャーを中心としたリゾートホテル

共用地及び村民の住宅用地の確保を困難にしております。公共事業の推進並びに村民の定住を図るうえから大きな障害となっております。この様な状況を踏まえ、恩納村環境保全条例の基に村全域を対象として土地利用について用途区分の指定を行ない、開発と保全の調和ある土地利用計画を誘導してまいります。

庁舎建設 について

庁舎建設については、現在、建設資金の積み立てを行っております。なお、庁舎建設に関しては恩納村庁舎建設基本計画策定委員会設置規則により委員会を組織し、基礎資料の収集と規則第二条による所掌事務の検討をいたしました。

中東湾岸の戦争への突入、停戦、その戦後処理のため混乱し、一方我が国においては国際化、高度情報化、人口の高齢化等の進展で社会経済が大きく変貌しつつある今年、住民の要求する旺盛な財政需要に適切に対応するため国、及び地方

このようなことから長期にわたる健全な財政運営を確立するため、自主財源の確保と事業の計画的選択、民間団体に対する補助金の整理合理化、経常経費の節減を図り長期的に安定した財政運営に努めてまいります。

この重要な観光資源であり、その保全は私達村民に与えられた重大な責務であると考えなければなりません。しかしながら村民が豊かで文化的な生活を営むためには、産業の振興、地域の振興の観点から開発は必要不可欠なことであり、今後

ルから、比較的規制の緩やかな集落地域の白地での分譲マンションに移行しておりいづれも大規模、かつ高層建築であることから電波障害、日照障害等村民の生活環境に新たな問題を提起しつつあります。また、この様なリゾート施設

三年度は、議会並びに各団体の長等をもって建設委員会を組織し、推進します。

環境保全 について

本村の四十km余に及ぶ海岸線は全域沖縄海岸国定公園に指定され、万座毛や真栄田岬に代表される景勝地があるほか、ほとんどが優

も推進されていくものと思

員会を組織し、推進します。

員会を組織し、推進します。



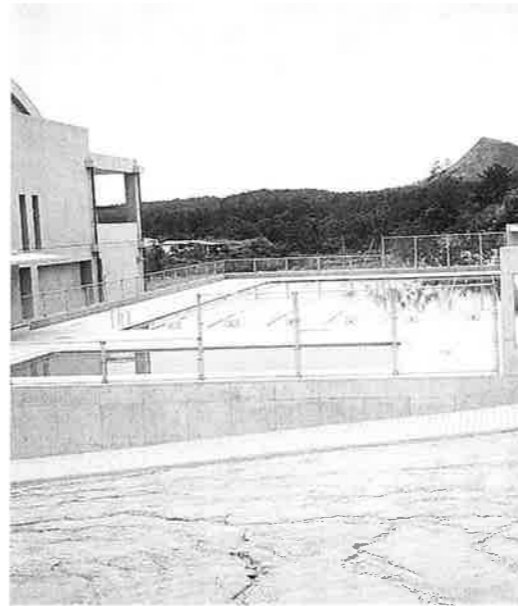
万座毛



観光客でにぎわうビーチ

教育・文化の振興

本村は、昭和四十七年の復帰後、教育環境の整備充実を主要施策として掲げ、校舎の増改築、体育館、水泳プール等の建設を積極的に推進し、一応の成果がありました。又、児童・生徒の学力の向上と健康の増進にも少なからず前進の跡が見られますし教職員の協力体制も確固たるものがあります。一方、社会教育面では、去年、念願の社会教育課が誕生し、人的体制も



平成3年度4月から使用されるプール (喜瀬武原校)

整い、各種の講座、教室、研修等も推進されつつあります。残るは、生涯教育、社会教育、社会体育、スポーツ、文化等の施設の整備、そして水泳プール一基、校地の拡張、体育館の増改築や学校のインテリジェント化等であります。とは云え、これら生涯学習施設等の整備計画をしようにも肝心の敷地(土地)の確保がなされていないため、暗中模索の

状態であります。このような現状を認識した上で、我が村の教育、文化の充実発展に寄せる村民の期待に答えられるよう、新しい時流に対応しつつ、二十一世紀に活躍する人材の育成を目指して、次の主要な事項を積極的に推進してまいります。

一、学校教育の充実

児童生徒一人ひとりの確かな学力をつけるため、基礎的・基本的事項の指導を徹底し、自学自習の定着化を図るとともに、幼・小・中間の連携を強化し、一貫した教育活動を展開する。小学校の「漢字」「算数」中学校の「漢字」「数学」「英単語」の博士の認定、石狩町との学習交流事業、「進級テスト」の活用「日本昔話英語暗誦大会」の開催、学力向上推進校の指定、先生方の教科(算数・数学)グループ研究会への助成、小学六年生全員の宿泊学習会等を積極的に推進し、徳

育の充実を図りながら心豊かな人間育成に努めてまいります。英語による会話力を高めるため、外人教師一人の増員を図り、アメリカンホームステイプログラムを推進し、国際化時代に活躍しうる人材の育成につとめる。

二、生涯学習の推進・社会教育の充実

情報化、激動の社会にあつて、人々は、自己の充実・啓発や生活の向上のため、適切かつ豊かな学習の機会を求めている。村民の多様化・高度化する学習ニーズに応えるべく、「いつでもどこでも、だれでも」学べる生涯学習社会の確立を目指すとともに、村民一人ひとりが生きがいのある人生を過ごす事ができるように、社会教育及び、体育・スポーツ関係全般の諸活動(各種学校・講座・研修・大会等)の充実に努めてまいります。

三、郷土文化の保護育成

村民が等しく郷土の文化にふれ、文化財に対する理解と関心を深めるとともに文化財の保存・活用及び芸術文化の振興を図る。

このため、「歴史の道」の整備、「万座毛」の保存と安全の確保、「村芸能愛好会」の結成、「村芸能祭」の開催など、又、平成四年度の「歴史民俗博物館」の建設に向けての諸調査と資料収集にも努力してまいります。



歴史の道 (山田)

村民福祉

について

急速な産業構造の変化、都市化の振興は、かつての村落共同体がもっていた家族や地域社会の相互機能が減退しつつある感がします。又、高齢化や核家族の進行、母子、父子家庭の増加等、福祉に対するニーズは益々増大かつ多様化し、一層の施策対応が求められています。

こうした状況を踏まえ、高齢者、身体障害者の福祉の増進を図る対応策として、地域福祉活動を拡充していく必要があります、それには社会福祉協議会、福祉団体等の充実、育成強化が必要と思われまます。

こうした中で村民が地域の实情に応じた自発的な協力と、積極的な参加による「健康で豊かな活力ある社会福祉」を目指す事が出来

国民年金

について

尚、今年も家庭奉仕員を二名社協に委託し介護対策を進め、又、重度心身障害者(児)の福祉の増進を図るため医療費助成(個人負担分)事業を推進して行くと共に高齢者、心身障害者の福祉機器対策(補装日常生活用具給付)事業を進め、児童福祉等の充実にも積極的に取り組んでまいります。

高齢化の到来とともに、年金制度に対する期待と関心は益々高まっており、特に沖繩は日本一の長寿県であり、老後の生活は年金が支えていると言っても過言ではありません。

言うまでもなく年金は国の制度として、又、国民の義務として、すべての人が加入、納付しなければならぬ責任があります。

しかし、一部村民のなか

れる方も出はしないかと心配されます。

我が村から無年金者を出さないためにも従来にも増して村、地域住民が一体となつて国民年金の果たす役割と重要性を再認識し、お互いの生活を安定と、豊かで活力ある社会を築いていかなければなりません。

そのためにも、引き続き今年も特別収納対策事業を

実施し、又、指導員の強化を図り検認率の向上に努めると共に、現在は大学生、研修学生は二十歳以上であっても国民年金へは任意加入とされていますが、本年四月から二十歳以上の学生も国民年金に必ず加入することになりますので、その加入特励にも取り組んでまいります。

保健事業

について

本格的な長寿社会を迎え、健康で生きがいのある人生を送りたいと願うのは、人々の願望であり理想であると考えます。近年、健康に対する村民の意識が高まり各種健康づくり対策が展開され、大きな成果を納めておりますが、しかし、一方では人口構造の高齢化や社会生活環境の急激な変化にともなつて成人病、精神不安、肥満などの増加の傾向にあり、その対策が急務であります。

新年度も村健康づくり推進協議会をはじめ、母子保健推進員、村保健婦及び駐在保健婦による乳児から老年寄りまで一貫した健康づくりに努めます。具体的には老人保健事業(健康審査、健康相談、健康教育、機能訓練)をはじめ各種予防接



年金納めて楽しい老後

庭へ「健康カレンダー」を配付して村民の健康に対する意識の高揚を図るとともに、「自分の健康は自分で守る。」体制の確立と、生涯にわたる健康づくり運動を推進してまいります。

老人医療、国民健康保険について

老人医療、国民健康保険事業につきましては、年々医療費が増高しており、今後とも増え続けるものと予想され、両会計は極めて困難な状況にあります。

国保税は、平成元年度、二年度と二年間据え置いで運営してまいりましたが、今年度は見直しについて検討せざるを得ない状況にあります。とりあえずは平成二年度の実績と今年上半年における医療費の動向を見極めながら対処してまいります。また、国保財政の安定的健全化を図るため、村民の健康づくりとタイアップし、国保に対する村民の

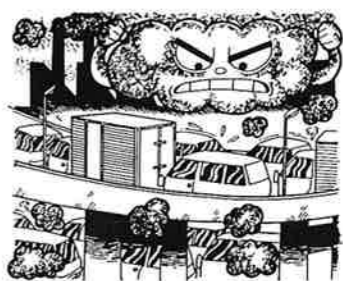
理解と協力を得て国保財政の充実強化運動（国保三％推進運動）を積極的に推進し、医療費の適性化、国保税の収納率の向上対策等実施してまいります。

環境衛生

快適な環境衛生を確保するため、一般廃棄物の収集運搬、野犬等の捕獲、ヤスデなどの衛生害虫の駆除、不法投棄の防止、清掃運動の推進に務めるほか、排水路の消毒、浄化槽管理に対する知識普及を図るため



ラシを配付し、河川や排水路の良好な水質の維持に務めます。また、河川等の汚染を防止するため、汚染源



大気汚染

の調査や総合的な浄化対策等を検討し、地域住民や団体の協力を得て取り組んでまいります。

ゴミ処理に関しては、可燃物、可燃物の分別の徹底、ゴミの資源化など東西清掃組合や自治会・婦人会・事業所等と連係を密にし、ゴミの減量化に努めてまいります。

平成二年度で完成する最終処分場については、平成三年五月から供用を開始する予定で準備を進めておりますが、汚水処理に相当な費用がかかりますので、利

用者にも応分の負担をしていただく、経費の節減と安全で衛生的な運営を心掛けてまいります。

上水道事業

平成二年末における上水道の普及率は五十八％、千五百六十戸に増加しており、平成三年四月には塩屋、喜瀬武原地区の給水予定を含めますと六十四％の普及を予想しており、集落単位の簡易水道から上水道への移行推進中に、近年の急激なリゾート開発に伴い給水量の増加が甚だしいことから村全体を対象とした広域的計画的でかつ合理的な維持管理を目指した水道経営を図る意味で見直し拡張事業の調査設計を着手したところであります。

また、平成三年度の事業は名嘉真、富着地区の普及工事と前兼久地区改良工事、真栄田地区の改良工事及び調査設計を実施します。

農業の振興について

本県の農業情勢は農畜産物の自由化、本土移入の増加に伴う価格低迷、平成六年実施されるさとうきびの品質取引制度等極めて厳しい環境の中にあります。このような状況下で近年亜熱帯気候を活かした野菜、花卉、熱帯果樹生産の増大やこれまで本土移出の弊害となっていたウリミバエの根絶により農業振興の新たな展望に加え、特に本村におけるリゾート開発の急速な要請が高まる中、地域開発と今後の農業の展望についても新たな気運が生まれており、農業の振興方向及びその基礎となる基盤整備事業についても、又、生産ニーズも地域によって変化していくものと思われま

めると共に終了地区においては、農業用水の確保、灌漑事業近代化施設等、新しい事業導入に向けて検討を進めていきたいと思



農業風景 (安富祖)

農業の基本はまず土づくり、農業環境の整備を優先的に実施すべきと認識しています。特に有機質土壌へ

林業の振興について

本村の森林は、戦災と戦後の復興材の供給や山林の畑地開墾による過度の伐採や米軍実弾演習等による被害等によって、森林の持つ多面的な機能が著しく阻害され、海域部にも大きな影響が生じています。このよ

うなことから昭和四十年代から、琉球松などの拡大造林の推進や保育管理及び天然林施策等を積極的に実施したことにより森林資源の内容も次第に回復していま

す。又、近年における県民の経済社会が物の豊かさから心の豊かさを求める時代へ移行する中であって、村士の保全、水資源のかん養、文化・教育活動の場の提供など公益的機能の発揮が強く要請されている現状にあります。従って、本年度も引き続き造林事業を始め、防風林・緑化用の育苗施設

と水資源の確保、及び林道の維持管理に努力したいと思

又、林業構造改善事業の効率的な運営と農業環境の整備計画・公共事業箇所・旧跡等緑化事業や育樹事業を推進すると共に農林業と観光産業との連結を模索しつつ林業事業を推進いた

水産業の振興について

水産業の近代化を図るため、水産業構造の改善を進めると共に、第八次漁港長期計画や局部改良事業に基づき、漁港、漁村の環境整備事業を推進するなど漁港周辺整備事業（海岸養浜事業）の実施計画を進めてま

いります。又、漁業生産の拡大を図るため、漁場の整備開発と併せて、有用魚貝類の種苗量産及び放流事業等、国、県の事業も積極的に導入し、地域特性を生かした栽培漁業は、モズク、



ヒトエ草の養殖 (屋嘉田湯原)

商工観光の振興について

本村の商工業の大部分を占める小規模事業者を対象として、サービス等、経営環境改善のため、これまで実施してきた各種事業を推進すると共に、村内大型企業への村民参加及び雇用拡大・村内一次産品の供給幹線など、地域産業の活性化のための生産基盤の体制づくりに向けて努力していき

たいと思

世界保健デー 4月7日

Heartbeat—The Rhythm of Health



子宮がん♥乳がん 検診を受けましょう

早期発見のためには
年1回の定期検診



子宮ガンは治ります

●早期発見で明るい家庭を——お母さんは太陽です。
30才より毎年定期の細胞診を受けましょう。

日程

実施日	時 間	場 所	対 象
5月7日(木)	午後1時30分～2時30分	コミュニティセンター	名嘉真～谷 茶
5月14日(木)	午後1時30分～2時30分	山 田 公 民 館	富 着～宇加地
6月2日(火)	午後1時30分～2時30分	コミュニティセンター	名嘉真～宇加地

子宮がん、乳がん検診を受けるには

- 対象者** 恩納村内にすむ30歳以上の者（職場等で検診を受けることができる場合は除く。）
30歳未満の方でも受診できます。（但し全額自己負担となります。）
- 費用** 子宮がん……個人負担 400円 30歳未満 2,500円
乳がん……個人負担 100円 30歳未満 1,500円
老人保健法の規定により、70才以上、65才以上のねたきり老人、生活保護世帯、村民税非課税世帯は無料とする。
- 申し込み方法** 各字公民館又は保健衛生課へお申し込み下さい。

*詳細については下記の電話番号へ問い合わせ下さい。

恩納村役場 保健衛生課 老人保健係 966-8001 (内線112)



お知らせ

日ごろから政治に関心を

作・しばたあきら



6月7日は、沖縄県議会議員選挙の投票日です

電話を通して『健康』をおとどけします

24時間

健康テレホンサービス

(那覇) 833-4466
(098)

4月のプログラム

- 月……塩分制限のコツ
- 火……肩こりや首の痛み
- 水……不整脈
- 木……歯科矯正の知識
- 金……エイズ
- 土・日……近視の進行を防ぐには

沖縄県保険医協会 〒902 沖縄県那覇市国場1014番地 tel. 098-832-7813

保険医協会は、国民も医師もともによろこべる医療改善をめざす開業保険医・歯科医師の団体です。

緑の羽根募金運動

できることから森林づくりに参加しよう

長かった冬も終わり、若葉が芽を吹く季節になりました。茶一色であった景色が、少しずつ緑色に変わって行きます。生命の息吹を改めて感じさせてくれる季節です。この「桜前線」ならぬ「緑前線」の北上に合わせて、現在、街頭をはじめ、さまざまなお店で、『緑の羽根募金』が行なわれています。『緑の羽根募金運動』にご協力ください。

